

牛流行熱の発生がありました

9月上旬～10月初旬 沖縄県・鹿児島県 で発生

中国や台湾などではほぼ毎年流行が報告されており、日本への侵入リスクは、これまで以上に高まっていると考えられます。

| 地名 | 発生状況 | | | 発症 | 症状 | 備考 | |
|------|------|------|------|------------------|-------|-------------------|------------|
| 鹿児島県 | 1 | 肉用繁殖 | 1戸1頭 | 黒毛和種繁殖牛 | 10/5～ | 食欲不振、起立意欲低下、水様性鼻汁 | 同居牛に類似症状あり |
| | 2 | 肉用繁殖 | 1戸1頭 | 黒毛和種繁殖牛 | 10/7～ | 食欲不振、軽度流涎、水様性鼻汁 | |
| | 3 | 肉用繁殖 | 1戸6頭 | 黒毛和種繁殖牛5 育成牛1 | 8/7～ | 発熱、元気消失、食欲不振等 | |
| | 4 | 肉用繁殖 | 1戸2頭 | 黒毛和種繁殖牛2 | 9/7～ | 発熱、元気消失、食欲不振等 | |
| | 5 | 肉用繁殖 | 1戸5頭 | 黒毛和種繁殖牛5 | 9/22 | 発熱、元気消失、食欲不振等 | |
| | 6 | 肉用繁殖 | 1戸1頭 | 黒毛和種繁殖牛 | 10/6～ | 発熱、元気消失、食欲不振等 | |
| 沖縄県 | 7 | 肉用繁殖 | 3戸4頭 | 黒毛和種繁殖牛4 | 9/15～ | 発熱、起立困難、跛行 | |

牛流行熱(届出伝染病)とは

- <原因> 牛流行熱ウイルス
- <疫学> 台湾、中国、韓国、オーストラリア、アフリカ諸国などで発生。蚊やヌカカが媒介し、発生は季節的(主に8月～11月)です。死亡率は1%以下。
- <症状> 突発的な発熱(41～42℃)、多くは1～2日程度で回復。呼吸速迫、元気消失、食欲不振、水様性鼻汁、関節炎による跛行、起立不能など
- <予防> ワクチン (飛騨地域では春に一斉接種している場合が多いです)

上記のような異常を認めた場合は、すぐに家畜保健衛生所へ連絡してください。

飛騨家畜保健衛生所 TEL(0577)33-1111

●閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

FAX : 32-9019

E-mail : c24508@pref.gifu.lg.jp

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/nogyo/kachikueisei/hidakaho/

メッセージは最後まで聞いてね!

